

4月4日16時より愛仁会リハビリテーション病院8階会議室で第11回市民公開講座を開催致しました。今回は眼科部長 清水一弘医師より白内障をテーマに講演し、16名の方にご参加頂きました。

白内障は白髪と同じで遅かれ早かれ誰でも罹患する非常に身近な病気ではありますが、世界ではまだ医療の発展が十分でない地域もあり、51パーセントの患者さんが白内障が原因で失明しているのが現状です。

講演の中で、白内障は日常生活で支障を来すなら手術をした方が良いが、手術のタイミングは自分自身で決めるものとお話しがありました。目の手術というと全身麻酔が出来ず、手術中に周りの音や声が聞こえるので怖いといったイメージをお持ちの方がたくさんおられ、その恐怖から手術を決断できない方もいらっしゃるようです。しかし早い段階で勇気を持って手術し、自分らしい生活を取り戻して余生を楽しんでほしいというお話しを聞いて、今度是非受診をしたいとおっしゃる方がいらっしゃいました。今回の講演が今まで白内障の手術に一步踏み出せないでいた方に手術を受けることを考えるきっかけをつくれたのではないかと嬉しく思います。

高槻病院では今後も定期的に様々な市民公開講座を開催して参ります。今後も様々なテーマで市民公開講座を開催しますので、興味のある方は是非ご参加下さい。



